

1. 科目名 (単位数)	教育学概論 (初等・幼) (2単位)	3. 科目番号	SJMP1105
2. 授業担当教員	攪上 哲夫		
4. 授業形態	講義、演習 (グループワーク含む)	5. 開講学期	春期
6 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	<p>本科目は教育という営みに深い関心を持ち、「教育とは何か」ということを考え始めている人に対し、教育(学)の基本的な概念と基礎理論について概括することを通して、受講者一人ひとりが、教育(学)の観点から今日の「子ども」を取り巻く環境の変化をふまえた「よりよい保育・教育」のあり方を考える上で求められる基礎的知識の修得を目的とする。具体的には、主に保育士・幼稚園(または小学校教諭)になるための土台となる教育の基本的概念や理念にはどのようなものがあり、教育の歴史や思想において、それらがどのように現れてきたかについて学ぶとともに、これまでの教育及び学校の営みがどのように捉えられ、変遷してきたのかについて、受講者同士の対話をとおして理解を深めて行く。</p>		
8. 学習目標	<p>本講義は、本科目の目的を達成するために、以下の目標を設定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教育のさまざまな側面に触れることで、各自のこれまでの教育概念を揺さぶり、それぞれが教育という営みを再考できるようになること。 2. 教育に関する代表的な論考やアプローチから教育の射程の広さを学び、教育理解に関する柔軟さ、そして教育実践における覚悟と責任と寛容さを培えるようになること。 3. ディスカッションや発表を通して、一対多という状況の中でも物怖じしない態度を身につけられるようになること。 		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内課題の提出 2. 前半・後半、2回の課題レポートを課す。 3. 各回の課題をまとめ、小レポートを課す。授業時に詳細を伝える。 		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】勝野正章・庄井良信著『問いからはじめる教育学』有斐閣ストゥディア 2017年</p> <p>【参考書】 広岡義之編著『新しい教育原理第2版』ミネルヴァ書房 2021年 東京福祉大学編『保育児童福祉要説 第4版』中央法規、2013年。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教育学の基本的概念・教育に関する歴史・思想を理解し、自分の言葉で説明できる力を身につけたか。(知識・理解) 2. 教育理解に関する柔軟さ、保育・教育実践に求められる態度・姿勢を身につけることができたか。(関心・意欲・態度) 3. 教育学に関する基本的な理論を理解した上で、教育という営みを再考することができるようになり、ディスカッションや発表を通して自分の意見を伝える力を身につけることができたか。(判断力・表現力) <p>以上の観点をふまえ、下記の1～3によって評価する。</p> <p>○評定の方法</p> <p>【授業への取り組み姿勢、授業内での課題提出、期末レポート等を総合して評価する。】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業への取り組み姿勢 (ディスカッションやグループワークへの積極的参加度) 総合点の30% 2. 授業内での課題提出 (小テスト・中間レポート等) 総合点の40% 3. 期末課題 総合点の30% 		
12. 受講生へのメッセージ	<p>教育学とは何か。将来、教育、保育分野に関わろうとする皆さんと共に考えていく。「教育」への疑問を持ち、それに対する自分なりの見識を持つことが重要である。本講義では、学問としての「教育学」に触れながら、今後あるべき教育の方向を見出して行く。なお、新型コロナウイルスの流行により zoom での授業に対応した場合は、授業の5分前までに端末の前に座って準備しておくこと。</p>		
13. オフィスアワー	初回授業時に案内します。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	ガイダンス 第1章 「よい教育ってどんな教育?」「よい教育とはどのような教育なのか」の問いを考える。pp.2~7	事前学習	これまで受けてきた「教育」の意味を考える。教科書を概観する。教科書 pp.2~7を読み、受講者が考える教育の原風景をイメージしておく。
		事後学習	「私にとっての教育マインド・マップ」を作成する。
第2回	第1章 「よい教育ってどんな教育?」 pp.7~14 人間に必要な「教育」の意味を考える。	事前学習	教科書 pp.2~14を読み、p2.「キーワード」の意味を予習する。
		事後学習	教育の目的で最も大切なものはなにか、整理する。
第3回	第2章「教育を社会の視点から考えてみよう」 どうして教育は必要なのか、その問いを考える。	事前学習	教科書 pp.15~25を読み、p.15「キーワード」の意味を予習する。
		事後学習	教育を通じた格差拡大を、不平等の解消について考えをまとめる。
第4回	第3章「子どもという存在・人間という存在」 pp.28~41 子どもとはどのような存在か、その問いを考える。	事前学習	教科書 pp.28~41を読み、p.28「キーワード」の意味を予習する。
		事後学習	子どもが育つ意味についてまとめる。
第5回	第4章「教え方は試行錯誤されてきた」 pp.43~57 教えるという営みがどのように模索され継承されてきたか、その問いを考える。	事前学習	教科書 pp.43~57を読み、p.41「キーワード」の意味を予習する。
		事後学習	先人たちの教育方法についてまとめる。
第6回	第5章「教育を受ける権利」 pp.58~70 戦前と戦後の教育の相違を考え、「子どもの権利」が	事前学習	教科書 pp.58~70を読み、p.58「キーワード」の意味を予習する。

	どのように保障されているか、その問いを考える。	事後学習	「子どもの権利」がどのように保障されてきたかをまとめる。
第7回	第6章「子どもの学びを支える仕組み」 pp. 71~85 「公教育」とは何か、その問いを考える。	事前学習	教科書 pp. 71~85 を読み、p. 71「キーワード」の意味を予習する。
		事後学習	公教育の意味についてまとめる。
第8回	第7章「子どものための学校ってどんな学校」 pp. 88~103 「子どものための学校」とはどのような学校か、その問いを考える。	事前学習	教科書 pp. 88~103 を読み、p. 88「キーワード」の意味を予習する。
		事後学習	「子どものための学校」とはどういう学校か、各自の意見をまとめる。
第9回	第8章「学校では何を学ぶの？」 pp. 104~117 「教育課程と学習指導要領」はどのように変遷されてきたか、その問いを考える。	事前学習	教科書 pp. 104~117 を読み、p. 104「キーワード」の意味を予習する。
		事後学習	教育課程と学習指導要領についてまとめる。
第10回	第9章「よい先生ってどんな先生？」 pp. 118~129 教師に求められる資質と能力について考える。	事前学習	教科書 pp. 118~129 を読み、p. 118「キーワード」の意味を予習する。
		事後学習	教師に求められる資質と能力についてまとめる。
第11回	第10章「どんなふうに子どもと接したらよいのか？」 pp. 130~144 教師と子どもとの教育的関係性について考える。	事前学習	教科書 pp. 130~144 を読み、p. 130「キーワード」の意味を予習する。
		事後学習	望ましい教師と子どもとの教育的関係性についてまとめる。
第12回	第11章「子どもがよく学ぶためには？」 pp. 145~160 子ども理解を大切にしたい学びの支援や授業の在り方について考える。	事前学習	教科書 pp. 145~160 を読み、p. 145「キーワード」の意味を予習する。
		事後学習	子ども理解を大切にしたい学びの支援や授業の在り方についてまとめる。
第13回	第12章「学校を卒業したら学ばなくてよいのか？」 pp. 161~171 生涯学習とは何か、その問いを考える。	事前学習	教科書 pp. 161~171 を読み、p. 161「キーワード」の意味を予習する。
		事後学習	生涯学習、学びの再考についてまとめる。
第14回	第13章「教育と学校の未来はどうなるの？」 pp. 173~182 未来の教育と学校について考える。	事前学習	教科書 pp. 173~182 を読み、教育と学校の未来についての予備知識を持つ。
		事後学習	教育と学校の未来についてまとめる。
第15回	まとめ 教育学概論の授業を振り返り、これからの各自の教育課題を考える。	事前学習	教科書、配布資料を読みなおし、これまでの14回の授業内容を振り返る。
		事後学習	授業内容を踏まえたうえで、教員を目指す各自の課題をまとめる。